

## 社会資本総合整備計画(地域住宅計画)の事後評価報告シート

1、事後評価を実施した社会資本総合整備計画(地域住宅計画)	
①計画の名称	多治見市地域住宅計画
②都道府県名	岐阜県
③計画作成主体	多治見市
④計画期間	平成22年度～平成26年度
⑤計画の目標	公営住宅の住環境整備、建物の長寿命化を図ることにより、だれもが暮らしやすい住まいづくりを実現します
2、事後評価の内容	
⑥実施体制・時期	多治見市役所建築住宅課にて事後評価を行った(平成27年5月)
⑦事後評価の結果	<p>指標 ①:「水洗化された住宅の割合」  定 義:下水処理区域内における、水洗化した公営住宅の住戸割合  評価方法:水洗化実施住戸数÷下水処理区域内公営住宅戸数  結 果:従前値:68%(平成22年度)⇒目標値:78%(平成26年度)⇒実績値:83%  結果の分析:達成</p> <p>指標 ②:「地上デジタル対応テレビ共聴アンテナ設置割合」  定 義:テレビ共聴アンテナを設置している団地において地上デジタル対応化の完了した住戸の割合  評価方法:地上デジタル化対応住戸数÷テレビ共聴アンテナ設置団地内公営住宅戸数  結 果:従前値:43%(平成22年度)⇒目標値:92%(平成26年度)⇒実績値:92%  結果の分析:達成</p> <p>指標 ③:「手摺の耐蝕化を実施した住戸の割合」  定 義:2階建以上の公営住宅のうち手摺の耐蝕化を実施した住戸の割合  評価方法:手摺耐蝕化実施住戸数÷2階建て以上の公営住宅戸数  結 果:従前値:60%(平成22年度)⇒目標値:65%(平成26年度)⇒実績値:63%  結果の分析:未達成</p> <p>指標 ④:「公営住宅の高齢者向け住宅の供給戸数の割合」  定 義:公営住宅における高齢者向け住宅の目標供給戸数(住宅マスタープランによる)に対する高齢者向けの住戸改善を実施した住戸の割合  評価方法:住戸改善実施住戸数÷住宅マスタープランの高齢者等住宅供給目標数  結 果:従前値:30%(平成22年度)⇒目標値:76%(平成26年度)⇒実績値:76%  結果の分析:達成</p> <p>指標 ⑤:「長寿命化のために外壁改修、ベランダ防水、屋根防水や浴室防水をした割合」  定 義:2階建て以上の公営住宅において、長寿命化のため外壁改修、ベランダ防水や屋根防水をした棟の割合  評価方法:屋根防水等実施棟数÷2階建て以上の公営住宅棟数  結 果:従前値:8%(平成22年度)⇒目標値:30%(平成26年度)⇒実績値:29%  結果の分析:ほぼ達成</p>
⑧結果の公表方法	多治見市のインターネットにて公表を行うと共に、建築住宅課窓口にて閲覧可
3、事後評価の結果を踏まえた今後の住宅施策の取組への反映等	
⑨今後の住宅施策の取組への反映	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も財政状況の許す範囲で長寿命化を図るため、供用年が古いものから順次、外壁・屋根防水改修を進めていく。</li> <li>・平成27年度に策定予定の集約化の方向性を定める管理基本計画を踏まえて、水洗化・手摺の耐蝕化等を進めていく</li> </ul>
⑩その他	

※この事後評価は別添の社会資本総合整備計画(地域住宅計画)について行ったものである。